

CRIC 著作権ビジネス講座 (アドバンス)

ビジネスに役立つ著作権契約

-交渉・トラブル・炎上対応の実務-

2026

近年、著作権を取り巻くビジネス環境は大きく変化し、契約交渉や権利処理、著作権トラブルへの対応に加え、SNS 時代における炎上対応など、実務担当者には幅広い知識と的確な判断が求められています。こうした中で欠かせないのが、著作権契約に関する基本的な考え方を理解し、法的な判断のポイントを踏まえながら、実務に適切に対応する力を身につけることです。

本講座では、契約実務の基本から、著作権契約における実務判断、著作権トラブルや SNS 時代における炎上対応まで、ビジネスの現場で役立つ実践的な知識を体系的に学びます。知財分野の第一線で活躍する弁護士が、豊富な実務経験を踏まえ、分かりやすく丁寧に解説します。

10/29(木)

12:30 受付開始

13:00



17:20

(※休憩 20 分)

「著作権ビジネスにおける契約と実務判断の基礎」

澤田 将史 氏

高樹町法律事務所 弁護士

10/30(金)

12:30 受付開始

13:00



17:20

(※休憩 20 分)

「著作権ビジネスにおける実務運用とトラブル対応」

池村 聡 氏

三浦法律事務所 弁護士

●開催日 10月29日(木)・30日(金)

●受講方法 会場・LIVE 配信

●会場 研究社英語センター大会議室
(東京都新宿区神楽坂 1-2-B2F)

●会場定員 70 名

●受講費 (会場・LIVE 配信)

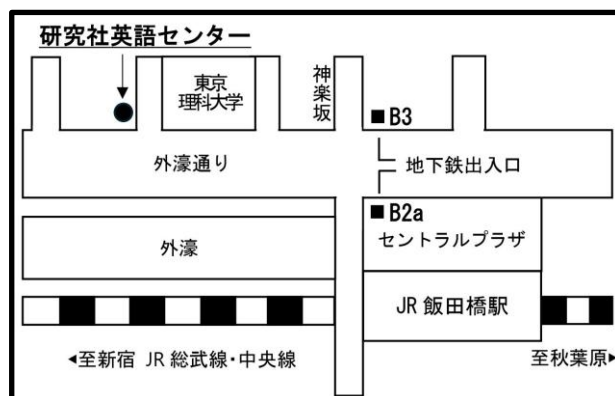
会員 38,000 円 (1 名・税込)

一般 47,000 円 (1 名・税込)

●申込締切 10月22日(木)

●見逃配信 10月30日(金) 19:00 ~ 11月6日(金) 17:00

※会場受講の方にも視聴 URL をお知らせいたします。



アクセス

地下鉄「飯田橋駅」B3、B2a 出口より徒歩 3 分
JR「飯田橋駅」西口より徒歩 5 分

著作権ビジネスにおける契約と実務判断の基礎



澤田 将史

SAWADA MASASHI

高樹町法律事務所
弁護士

本講座では、著作権契約に必要な著作権法・民法の基礎の確認から始め、著作権契約において典型的に問題となる条項について裁判で問題となった具体的な事例なども踏まえて法的な位置付けを深掘りし、何となくで理解している点について正確な知識をもって著作権契約に臨めるようになることを目的としています。

学会等

- ・著作権法学会（監事）
- ・国際著作権法学会

《 《 《 講 義 内 容（予定） 》 》 》

1. 著作権契約に必要な著作権法・民法の基礎知識
2. 著作権譲渡契約のポイント
3. 著作物利用許諾契約のポイント
4. 著作者人格権不行使特約のポイント
5. 表明保証条項のポイント

略 歴

- 2011 年 早稲田大学大学院法務研究科修了
- 2012 年 弁護士登録（第一東京弁護士会）
- 2016 年 文化庁著作権課 著作権調査官（～2019 年）
- 2023 年 高樹町法律事務所 パートナー
- 2024 年 文化審議会著作権分科会政策小委員会
法制度に関するワーキングチーム委員

主 な 著 書・論 文

- ・『相談事例で学ぶ生成 AI 活用と法務』（共著/有斐閣/2026）
- ・『実務者のための著作権ハンドブック（新版）』（共著/CRIC/2022）
- ・連載「著作権契約のツボ」（『コピーライト 2021 年 4 月号～2022 年 3 月号』/CRIC） など

著作権ビジネスにおける実務運用とトラブル対応



池村 聡

IKEMURA SATOSHI

三浦法律事務所
弁護士

著作権ビジネスの実務は、必ずしも著作権法上適法か否かという話だけで回っているものではありません。著作権トラブルを回避するためには、著作権法や裁判例の知識に加え、契約慣行、業界モラル、クレームリスク、炎上リスク等についての知識が不可欠です。本講座では、法律の条文や判決文には書かれていない実務上の様々な視点を豊富な実例とともに紹介し、トラブル防止のためのヒントを探ってみたいと思います。

学会等

- ・著作権法学会（理事）

《 《 《 講 義 内 容（予定） 》 》 》

1. 著作権トラブルの主な類型
2. 実務上の行動指針
3. SNS 時代におけるリスク管理と炎上対応
4. トラブル予防のための実務的アプローチ
5. 生成 AI 時代の新たな留意点

略 歴

- 1999 年 早稲田大学法学部卒業
- 2001 年 弁護士登録（第二東京弁護士会）
- 2009 年 文化庁著作権課 著作権調査官（～2012 年 6 月）
- 2019 年 三浦法律事務所設立
- （一社）授業目的公衆送信補償金等管理協会理事（現在）
- 2020 年 文化審議会著作権分科会法制度小委員会委員（～2023 年）
- 2022 年 （一社）日本音楽出版社協会監事（現在）
- 2023 年 文化審議会著作権分科会使用料部会委員（現在）

主 な 著 書・論 文

- ・『はじめての著作権法（第 2 版）』（日経文庫/2026）
- ・『実務者のための著作権ハンドブック（新版）』（共著/CRIC/2022）
- ・『インターネットビジネスの著作権とルール（第 2 版）』（共著/CRIC/2020）
- ・『著作権法コンメンタル別冊平成 21 年改正解説』（勁草書房/2010） 他多数

お申込みはこちら

⇒ <https://www.cric.or.jp/seminar/index.html>



会場での受講

注意事項

- 講演の録音・録画・撮影（写真・ビデオ）は禁止いたします。
 - 申込者数を超える人数での受講は固くお断りいたします。
 - 開催日 1 週間前までに受講票等が届かない場合は、ご一報ください。
 - 開催当日、会場での参加費のお支払いはできません。
 - 払込金受領証を領収証の代わりとさせていただきます。
 - キャンセルによる返金および他講演への振替はできません（代理出席は可能です）。
 - 講演前日までに、LIVE 配信の視聴 URL および配付資料（レジュメ）のダウンロード URL をお知らせいたします。配付資料は会場でもお配りいたします。
- * CRIC は、日本弁理士会の継続研修の外部機関として認定されており、本講演は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本講演を受講し、所定の申請を行うことで、外部機関研修として8単位が認められる予定です。

LIVE 配信での受講

注意事項

- 講演の録音・録画・撮影（写真・ビデオ）は禁止いたします。
 - 申込者数を超える人数での受講は固くお断りいたします。
 - キャンセルによる返金および他講演への振替はできません。
 - 講演前日までに、LIVE 配信の視聴 URL および配付資料のダウンロード URL をお知らせいたします。
- * LIVE 配信での受講は日本弁理士会の継続研修対象外です。単位取得は認められません。

* お知らせいただいた個人情報は、本講演の運営および CRIC の事業（セミナーの開催や書籍の発行など）のご案内に必要な範囲内でのみ利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

CRIC 主催のセミナーや、新刊書籍などの情報をお届けするメールマガジンサービスを実施しております。配信をご希望の方は、こちら <https://www.cric.or.jp/magazine/index.html> から登録をお願いいたします。メールマガジンの配信は無料です。

登録無料



お問合せ先

公益社団法人 著作権情報センター（CRIC）

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー22F

TEL 03-5309-2421